

第1回魚津市地域部活動推進協議会

- 1 日時 7月20日(木) 19:00
- 2 場所 ありそドーム 研修室
- 3 参加者 市体育協会 各スポーツ競技団体(13競技) 魚津商工会議所
市PTA連合会 市中学校長会 市中学校体育連盟 各代表
事務局:市教育委員会(教育長 局長 担当課長 担当)
- 4 協議内容 (協議資料…別添参照)
 - (1) 運動部活動の現状と市の取組
 - (2) 今後の方針案
 - (3) 課題への対応案
- 5 先行事例の報告
 - (1) バレーボール競技
「ファンバトヤマ」部活動の完全地域移行を見据えた取組

【ファンバトヤマ式 部活動地域移行について】

- 各中学校バレー部は存続し、平日の活動については各部に任せる
- 各練習試合、大会はファンバとして参加 → 男女とも県選出場
- 各バレー部顧問と密接な連携を構築
- 選手をカテゴリ(トップチーム・育成)に分け、力量に応じた練習内容
- クラブ費(部費相当額)を徴収し、活動費に充てる

【活動の概要】

- 指導者:指導者6名 ※全て日本スポーツ協会公認指導員資格取得又は取得予定
- 参加人数(1~3年生) 男子12名 女子30名
- 活動日:夜練習 月曜 水曜 昼練習 土・日曜のいずれか

【メリット】

- 指導者の有効かつ効率的な活用が可能
- 力量に応じた指導が可能
- 教員の負担減
- 選手のモチベーションアップ
- 活動の柔軟化
- 小・中の一貫的な指導が可能

【課題】

- 放課後や夏休み等の長期休みの日中活動について、指導者派遣は現状厳しい
- 週末の体育館使用について、地域移行が一律に進んでいないため、他の部活動優先となっている
- バレー部に所属しているものの、ファンバには所属していない選手がいる
- 指導者は現状無報酬
- 用具等について、初期投資が多額となっている
→ 安定的な財源収入が必要

(2) 陸上競技

「MT. SUPOLA」 休日の部活動の地域移行に向けた取組

【現状】

- 練習場所：桃山陸上競技場
- 活動日：毎週土曜日（月 4 回程度） MT. SUPOLA の体験教室として合同練習 をスタート
- 活動時間：土曜日 9：00 ～12：00 or 13：30 ～16：00
- 参加人数：46 名 ※このうち MT. SUPOLA 会員 14 名
（他 MT .SUPOLA 小学生 65 名 A・B・C チーム） R5.7 月現在合計 111 名
- 指導者：10 名 登録 毎回 3～5 名で指導

【問題点・課題】

- 練習場所…桃山までの移動の問題（自転車の生徒が多い）や冬季期間の練習場所の確保
- 活動日・時間…今後平日も活動するとなると 18 時～が練習時間となり、桃山までの移動や帰宅時間等、今までの部活動とは大きく変わってしまうので、活動したくてもできない生徒が出てくる また、桃山陸上競技場にナイター照明がないことから、練習が困難な種目もある
- 参加人数…悪天候時の練習場所や待機場所が少ないため、対応が難しい場合もある。
- 指導者…登録者 10 名中、 毎回参加できる指導者は 3 名程度
陸上競技の種目練習の対応ができない日が多い
※向上心がある生徒が多いので、なんとか指導者不足を解決したい

【その他】

- 学校との連携…生徒の出席状況や練習内容の情報交換をしている。（指導日誌 やメール など）
- 受益者負担…今回の体験教室（東西合同練習）には民間団体からの助成金を活用していることから、各種登録費用程度の安価な負担（スポーツ保険含む）で活動できている。今後は活動する環境整備や指導者の確保を含め、財政支援などが必要となる。ただし 将来的に MT. SUPOLA の基準に沿った負担が望ましく、関係機関からの支援が途切れた場合でも安定した財政基盤を確保する必要性がある。

○成果…学んだことを平日の部活動に活かせるように指導 →自己ベスト記録 多数
○今後の見通し…平日のクラブ練習に参加可能な生徒は、徐々にクラブ会員になり活動していく。(体験教室からクラブチームへの加入 4名)

6 主な質問・意見

- 先行実施の2競技の取組は大いに参考になった。
- クラブチーム立ち上げに際し、どのような手続きが必要なのか。提出物や資料等、面倒な手続きがあると躊躇する。
- 市の方針にあるように、安定した活動ができるように全体を統括する事務局を設置してほしい。
- 窓口を設置するなど、トラブル対応(いじめ、保護者対応)の仕組みを整えてほしい。
- 現在ある組織の中で、スポラが母体となることを期待したい。
- スポ少の指導や仕事と兼任して指導するのはかなり厳しい。練習可能な時間は夜間となる。
- 各地区のスポーツ推進員にも競技団体とは別の視点で関わってもらえばどうか。
- スポ少出身の生徒とのつながりを大切にして、将来の指導者育成に努めている。
- 指導者確保のため、近隣の市町在住の方に声がけしている。
- 人数が多いため、練習場所の確保が課題である。中学校単位とするか、クラス別とするか検討中である。
- スポ少でも広域での活動となるなど、競技人口の確保が課題であり、東西合同のクラブチームも将来成立しないのではないかと危惧している。
- 道具の多い競技では、練習場所までの移動手段が課題である。
- 部活動の地域移行を積極的に進めたいという競技への支援をしっかりとしていきたい。相談事があれば連絡してほしい。
- 団体間のパイプ役となって課題解決を担っていきたい。
- 保護者として大きな課題は送迎である。仕事の関係で都合がつかないこともある。保護者の自主性だけでなく、仕組みとして根付くように課題解決に取り組んでほしい。
- 意欲のある子どもたちの可能性を伸ばしてあげたい。そのためには、多くの方の理解と協力が必要である。
- 企業の理解と協力がないと、地域の活動は難しいと思う。そのためにはまず、知ってもらうこと、周知が大切である。指導者の確保や資金面等、将来を担う子供たちのためにできることを事務局と相談していきたい。

○現在、教育の大きな課題は教員のなり手が不足していることである。その要因は、複雑な教育課題への対応や部活動等に係る超過勤務の状況にある。持続可能な教育環境を整えるため、現在の部活動を改善していくには地域の理解と協力が必要である。また、教員も地域の指導者として参加できるような仕組みが大切である。

○部活動の教育的意義や期待は今も昔も変わらないと思うが、生徒数の減少により、学校で活動できない競技、顧問が割り当てられない競技が出てくる。東西中学校合同で指導していただく仕組みをはじめ、市の方針にもあるように段階的に知恵を出し合って進めていければと思う。